



飛 形

八女市立筑南中学校
学校だより第4号
令和8年7月17日発行
文責：校長 高野 直幸



閉校式まであと

246日

令和9年3月20日

1 中体連に「筑南」の名を残す | 八女地区卓球大会・剣道大会

6月27日、夏の中体連大会が各会場で開催されました。本校は卓球・剣道に出場しました。卓球では個人戦で2年生の さんが準優勝、剣道では個人戦で2年生の さんが準優勝に輝きました。19日に開催の筑後地区大会に向けて、しっかりと頑張りたいと思います。卓球部3年生は最後の大会となりました。それぞれ、自分の力を発揮できたと振り返っていました。これからは部活動で培った粘り強さを今後の学校生活に生かしたいと思います。



【卓球大会を終えて】



【卓球個人戦（さん）の様子】



【剣道個人戦（さん）の様子】

2 私たちが灯し続けている平和の火 | 山本 拓道さん講話

八女市星野村の平和の塔に広島原爆の火が今も灯されています。今から81年前、山本達雄さんは広島焼け跡から、亡くなった叔父の生きた証として、命がけて原爆の残り火を星野村へ持ち帰りました。そのご子息である山本拓道さんをお招きし、7月2日に平和学習講話を行いました。最初は怒りや悔しさがこもった「恨みの火」だったものが、23年間、自宅で守り続けられる中で、世界平和を願う「平和の火」へと変わっていったこと、戦争に送り出す達雄さんの祖母からカイロを渡されたこと、原爆投下の当日は寝坊をしていつも乗る電車が1本遅れ助かったこと、など数々の偶然が重なり、原爆の火を奇跡的に持ち帰ることができたそうです。今年5月、原爆の火をハワイの真珠湾に持っていき、すべてのわだかまりをこの火とともに消し、戦争で亡くなった日米の方々に対して哀悼の誠を捧げたというニュースは記憶に新しいと思います。

山本さんは「この平和の火は星野村の人だけでなく私たち八女市民が灯し続けているという気持ちを持ってほしい。」と話されました。子どもたちの感想にも「今までビデオで見ていた方が自分の目の前で話をされていてすごくうれしかった。」「原爆の火を星野村まで持って帰ってきた日から1日も絶やさなかったことがすごい。原爆の火を私たちがこれからも灯していきたい。」「原爆を経験していない私たちが原爆のことを忘れずに原爆の火を受け継いでいかなければならない。」などの学びや感想がありました。

そして、講話の後、「八女市平和記念式典」へ捧げるための折り鶴集会を行いました。拓道さんから受け取ったメッセージを胸に、平和を願い、1羽1羽、心を込めて折りました。みんなでつくった千羽鶴は8月6日の八女市平和記念式典で星野中学校の生徒を通じて献呈され、その後、八女市役所星野支所入口で大切に保管されます。



【講師の山本拓道さん（画面は達雄さん）】



【原爆の火を持ち帰ったカイロ（同型）】



【献呈された千羽鶴（昨年度）】



【千羽鶴を折る子どもたち】

3 自分の心と直感に従う勇気を持て|ようこそ!先輩「JICA 出前講座」

本年度の重点目標のキーワード「最後の筑南中学生としての誇りを持つこと」「5年後・10年後のなりたい自分を目指すこと」を達成するために、7月3日、「JICA 出前講座」を行いました。講師は JICA 海外協力隊員であり、本校の卒業生でもある鵜木康平さん。鵜木さんは現在ベトナムで地域おこ



【ベトナムの文化について学ぶ様子】



【質問に答える鵜木さん】

しの仕事をされています。当日はベトナムと日本をオンラインでつなぎ、お話いただきました。

「異文化理解」というテーマで、ベトナムにある自然、文化、食べ物、伝統、歴史などを写真や映像、クイズを交えて楽しく紹介いただきました。また、医師の中村哲さんの生き方から国際協力に興味を持たれたことや異文化の中で暮らすことの面白さなど鵜木さん自身の生き方に関する興味深いお話もありました。

お話の後、さまざまな経験を経て海外へ飛び出した先輩の姿から、「5年後・10年後のなりたい自分」について考える活動を行いました。この活動には JICA デスク福岡 国際協力推進員の吉原さんにもサポートに加わっていただきました。「社会や周りの人を元気づけることができる自分になりたい。」「『自分の心と直感に勇気を持て』というスティーブ・ジョブズ氏の言葉を忘れずに南中の人と仲良くなりたい。」「周りの人が言うからではなく、自分の未来は自分で決めたい。」など、子どもたちの頼もしい学びがありました。最後に本講座の企画にあたり、八女市立花支所のみなさまにご支援、ご協力いただき、実現することができました。ありがとうございました。



【JICA 吉原さんに質問する様子】

4 15歳の主張|八女地区青少年弁論大会

7月4日、おりなす八女で「社会を明るくする運動 八女地区青少年弁論大会」が開催され、3年生の さんが「アンコンシャスバイアス」という演題で出場、優秀賞を受賞しました。アンコンシャスバイアスとは、性別や年齢などの属性で無意識に相手を決めつける思い込みです。これは他者を傷つけ、自身の可能性をも狭めてしまいます。 さんは人権学習を通じて、外見や一部の発言だけで判断していた自分を振り返り、まずは立ち止まって考え、相手の思いを聞き認めたいと主張していました。



【弁論する さん】

5 充実した筑南中最後の夏休みに向けて

これから35日間の夏休みが始まります。3年生にとっては進路獲得に向けた勉強、2年生にとっては、新体制での部活動、自由研究や克服したい課題など長期休暇だからこそできることがあります。校長の私も夏休みは秋の展覧会に向けて、作品制作に励みます。みなさん、1日1日を大切に、そして安全に過ごしましょう。

保護者のみなさま、先日は授業参観、PTA 学年保護者会にお越しいただきありがとうございました。夏休み期間中は特に熱中症や水の事故などの危険性が高まります。先日配布の「夏の生活心得」をご確認いただき、充実した休みとなるようご家庭でもご指導よろしくお願いします。

今後の主な学校行事（予定） ※予定は変更することがあります。

7月17日(金)生徒集会、生徒会認証式
21日(火)学習会～24日
8月6日(木)出校日
25日(火)授業開始、生徒会交代式

8月27日(木)期末考査計画、常任委員会
28日(金)課題テスト
※8月13、14、17日は閉庁日です。
※9月9、10、11日は期末考査です。
☆SC勤務日8月はありません。